

# 今、何故企業はSDGsに取り組むのか

住友理工株式会社

CSRアドバイザー  
一般社団法人中部SDGs推進センター  
代表理事

戸成司朗



一般社団法人



中部SDGs推進センター

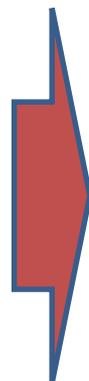
SDGsとは全ての国連加盟国193カ国が合意した、より良い世界を目指す  
うえでの2030年のあるべき姿(2030アジェンダ)を書いた文書

国連の当初の目標

戦争が無い

飢餓

人権が守られる



グローバル化に伴う社会課題の変化

SDGsの合意

誰も取り残されない社会

No one will be left behind

17の分野・169の項目



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

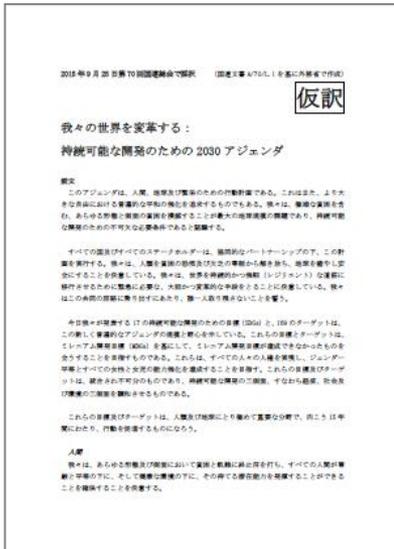


SDGsは17の目標と目標それぞれに  
ターゲット（全169個）が設定されて  
います

### 目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる\*

- 13.1 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。
- 13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
- 13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。
- 13.a 重要な緩和行動の実施とその実施における透明性確保に関する開発途上国のニーズに対応するため、2020年までにあらゆる供給源から年間1,000億ドルを共同で動員するという、UNFCCCの先進締約国によるコミットメントを実施するとともに、可能な限り速やかに資本を投入して緑の気候基金を本格始動させる。
- 13.b 後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において、女性や青年、地方及び社会的に疎外されたコミュニティに焦点を当てることを含め、気候変動関連の効果的な計画策定と管理のための能力を向上するメカニズムを推進する。

\*国連気候変動枠組条約（UNFCCC）が、気候変動への世界的対応について交渉を行う基本的な国際的、政府間対話の場であると認識している。



1990年代から市場経済のグローバル化拡大

新興国の急成長

G7からG20の時代へ

日本はなぜ世界的な成長実感がないか

## 光

- 中国、韓国の東アジアの経済成長
- インドを含めた南アジアの経済成長
- 東欧の経済成長
- ブラジル、メキシコなど中南米の経済成長

## MDGsの目標に向け進捗

## 影

- 地球の再生能力を超えた環境負荷の増大
- 生態系の破壊の進行
- 富の再配分の低下による先進国をも含む格差の拡大
- 労働力としての移民政策からくる差別

## 世界と地球の持続可能性に赤信号

MDGs(ミレニアム開発目標)は21世紀にあたり国連が世界の均衡のとれた発展に向け、発展途上国を中心に人権の尊重にむけボトムアップを図ったもの

先進国は目標達成にむけた取り組みを求められ

国連グローバルコンパクトの署名したグローバル企業はMDGsの達成に向けた努力が義務付け

SDGsは加盟193カ国が地球や社会の持続可能性に危機感を持った結果生まれたもの

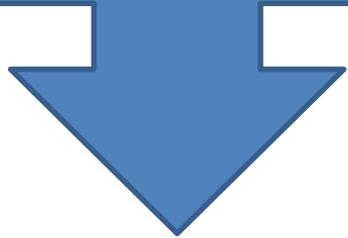
CSR（企業の社会的責任）の普及時代 2004年～

CSV（共通価値の創造）ポーター教授提唱 2011年

ESG投資の台頭 2011年～

国連SDGs（持続可能な社会の開発）制定 2015年9月

CSRは変化しているのか



後でお答えします！！

## ESG投資の増大

- 近年「ESG投資」がグローバルに拡大している
  - ESG投資とは E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)など非財務情報も考慮しつつ収益を追求する投資手法です
- 
- 2015年9月GPIF(年金積立金管理運用独法)がPRI(責任投資原則)へ署名
  - PRIとは国連が機関投資家の投資意思決定プロセスにESGの視点を反映させるべきとしたガイドライン
- 
- GPIFは世界有数の機関投資家であり、日本の上場企業はESGの取り組みへの強化は必須になりつつあります

**E**  
(環境)

気候変動  
生物多様性  
汚染と資源  
水使用  
サプライチェーン

**S**  
(社会)

顧客に対する責任  
人権と地域社会  
健康と安全  
労働基準  
サプライチェーン

**G**  
(企業統治)

コーポレートガバナンス  
リスクマネジメント  
腐敗防止  
税の透明性

コミットと情報開示の重要性

ESG投資の動き



企業

エシカル消費の動き

92%

グローバル企業の認知

71%

行動を開始している

22%⇒4%

現在は何もしていない  
5年後も何もしていない

出典：PWCビジネスと持続可能な開発目標  
2017年3月調査

エクスクルージョン(排除)の論理

排除的な資本の論理の行き詰り



インクルージョン(包摂)思想へ

全ての人と自然をも包摂する新たな資本主義へ

トランプ現象に代表される、  
一国主義・排他的差別社会

重要な分かれ道



持続可能な世界に向けて  
国際ルールに則った自由貿易と  
SDGsの目指す社会の実現

## それは2つの視点から

1. SDGsに向け世界各国の政府の優先事項と自社の戦略の方向性と一致させそれに取り組む企業は、政府や市民からその地域での事業活動を受け入れられる。  
逆に取り組まなければ事業活動の継続性に赤信号が！

## リスク

2. 世界の各国政府は、SDGsの実現に向け、政策立案が動き始めています。SDGsを認識し、これに取り組んでいる企業は、新たな政策と戦略が一致する。  
また、社会の期待に応えることで成長可能性の高いビジネスモデルが構築できます。

## 機会

2015年イギリスが現代奴隷法制定

2016年11月パリ協定発効

2017年にイギリス、フランスが2040年以降の  
ガソリン車、ディーゼル車の販売を禁止決定

今後、SDGsを踏まえた各国の法制化の動き  
SDGsを意識したイノベーションが起きる

## ➤ 将来のビジネスチャンスの見極め

革新的なソリューションや抜本的な変革を進めていける企業の為に、成長する市場を明確にしている

## ➤ 企業の持続可能性に関わる価値の向上

環境コストなどの外部性が益々内部化されるに伴い、SDGsは、例えば、企業が資源を更に効率的に利用し、あるいはより持続可能な代替策に転換するような、経済的なインセンティブを強化する

## ➤ ステークホルダーとの関係強化、新たな政策展開との同調

SDGsと経営上の優先課題を統合させる企業は、顧客、従業員その他のステークホルダーとの協働を強化できる、させなければリスクにさらされる

## ➤ 社会と市場の安定化

社会が機能しなければ、企業は成功できない。SDGsに取り組むことはビジネスに必要な、ルールに基づく市場、透明な金融システム、正しいガバナンスを支援することになる

## ➤ 共通言語の使用と目的の共有

SDGsは共通の行動や言語の枠組みを提供することにより、企業より効果的に、ステークホルダーと意見交換を行うことを支援する

## <負の影響>

新しい規制、標準化、需要超過（原料、労働力）、サプライチェーンの途絶、ステークホルダーからの圧力、市場力学の経時的変化などが、企業にとってコストやリスクになる可能性を検討する。

## <正の影響>

創意工夫の機会、新しい製品やソリューションの開発の機会、新しい市場領域を開拓する機会など、企業にとって成長する可能性を検討する。

SDGs全体に対する優先する課題を決定する

# バリューチェーンにマッピングし影響領域を特定 20/33

## 実例：バリューチェーンにおけるSDGsのマッピング

各企業は、世界中の事業所におけるすべての従業員に生活賃金を支給することにより、その事業におけるSDGsの目標8への正の影響を強化することを優先課題として特定する。

各企業は、消費者がエネルギー消費を減少させ、関連の温室効果ガス排出量を削減できるような自社製品を開発・提供することにより、SDGsの目標13への正の影響を強化することを優先課題として特定する。

目標8  
ディーセント・  
ワークと  
経済成長

目標13  
気候変動への  
アクション

正の影響の強化

バリューチェーン



負の影響の最小化

目標6  
きれいな水と  
衛生

目標11  
持続可能な  
まちづくり

目標12  
持続可能な  
消費と生産

各企業は、サプライヤーと連携して水資源の不足している地域において水使用量を削減することにより、自社のサプライチェーンにおけるSDGsの目標6への負の影響を抑制することを優先課題として特定する。

各企業は、自社ドライバーの交通安全を改善することにより、調達物流および販売物流においてSDGsの目標11への負の影響を抑制することを優先課題として特定する。

各企業は、自社製品の再利用可能性や再生利用可能性を向上させることにより、自社製品の廃棄時におけるSDGsの目標12への負の影響を抑制することを優先課題として特定する。

## 実例：目標設定アプローチの採用

### インサイド・アウト・アプローチ

目標設定に対し、内部中心的なアプローチを取る今日的なあり方では、世界的な課題に十分対処することができない。



達成度のギャップ  
世界的な課題に対する現在の事業達成度と求められる達成度にはギャップがある。

### アウトサイド・イン・アプローチ

世界的な視点から、何が必要かについて外部から検討し、それに基づいて目標を設定することにより、企業は現状の達成度と求められる達成度のギャップを埋めていく。

SDGsは、国際的に望ましい到達点に関しての前例のない政治的合意である。



バックカasting

SDGsの項目が達成されている  
社会を想像し自社の資源結び付  
理想のイメージを作る

イノベーション

理想のイメージに必要な、技術、サプ  
ライチェーン、社会資源を想像する

ルール

ルールメーカーになる  
イノベーションをグローバル基準に

# Corporate Social Responsibility

日本語の訳は「企業の社会的責任」ですが  
Responsibility は Response + Ability  
<応える> <能力>

## CSR経営とは

企業が社会の期待に応える能力を高めること

SDGsはCSR経営の未来指標

社会の期待に応える製品・サービスの提供

持続可能な生産・サービス活動

グローバル企業として持続可能な地域づくり

社会課題のニーズはSDGsに集約されている

SDGsによる市場創出  
年間1320兆円

エネルギー・素材  
473兆円

都市  
407兆円

健康・福祉  
198兆円

その他、食品・農業が253兆円と推定、雇用創出は3億8000万人

出所:ビジネスと持続可能な開発委員会

抗生物質からの脱却

3 すべての人に  
健康と福祉を



13 気候変動に  
具体的な対策を



鶏肉の飼料・飲料の抗生物質の  
人体への影響回避（薬剤耐性菌問題）

飼料添加物「メチオニン」の開発による抗生物質に  
頼らない成長と免疫力向上

併せて、メチオニンは温室効果ガス発生を減らせる

鶏肉消費量は2022年には豚、牛肉を抜いてトップに

家庭ごみ、産業廃棄物を分別せずに丸ごとエタノールに変える技術を開発

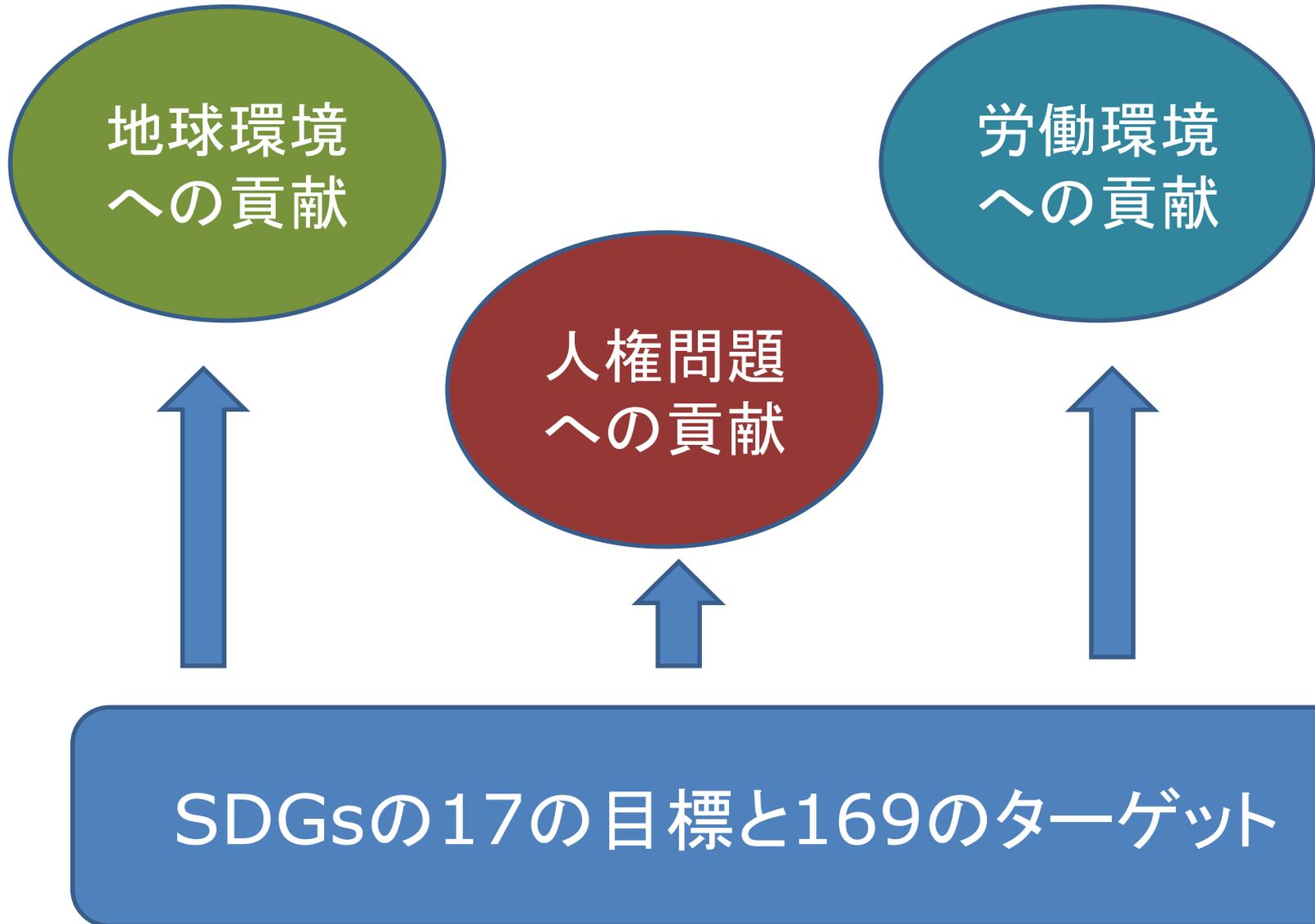


- 積水化学のエタノール原料を収集する「ガス化技術」
- 米国ベンチャーのエタノールを生成制御する「微生物触媒技術」
- 廃プラスチックを分別せずごみ焼却

マイクロビーズ「海洋プラスチック問題」を解決する

目指すは、化石資源に頼らない「究極の資源循環社会」

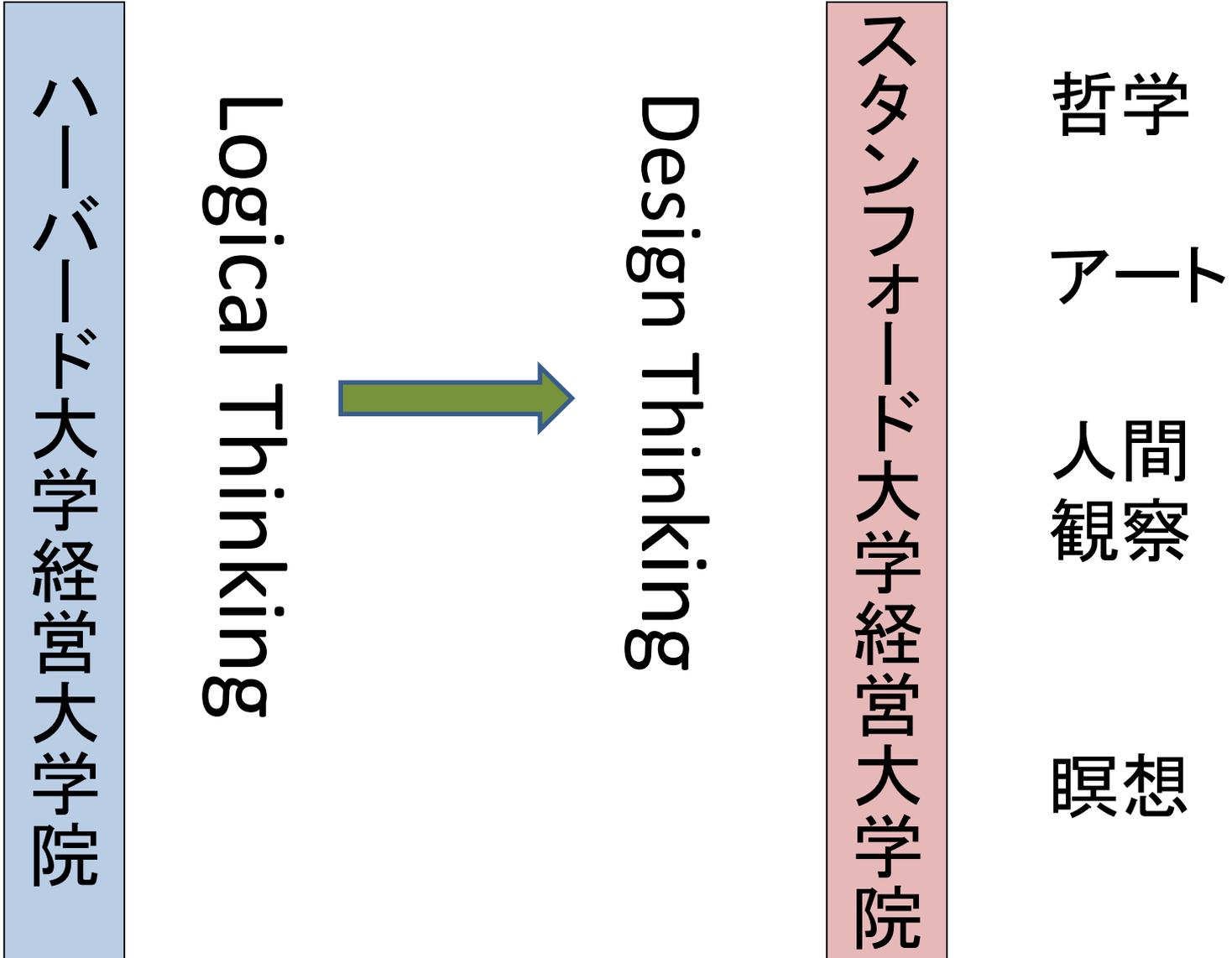
2020年に商業化の計画

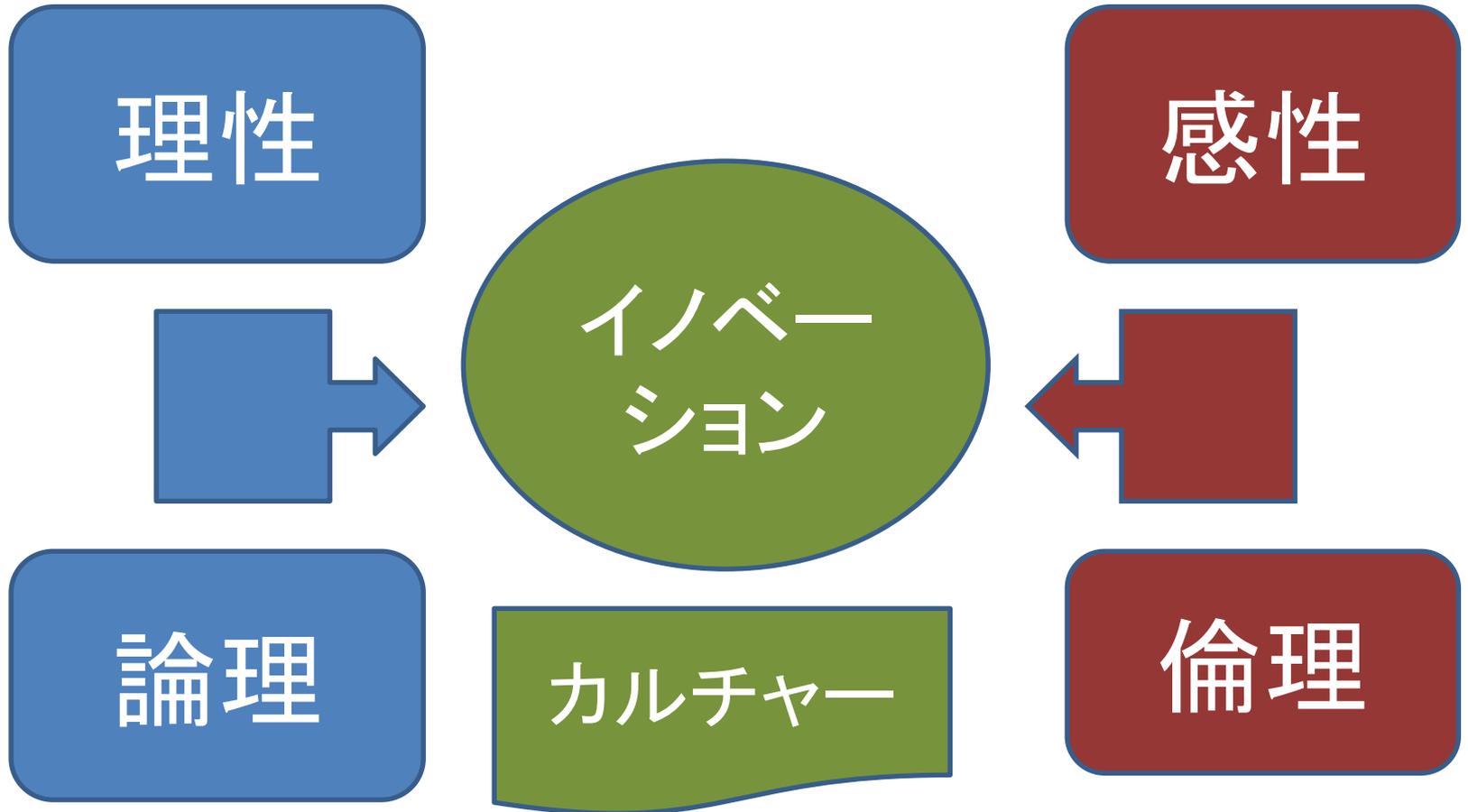


進出した地域に於ける持続可能な  
生産・サービス活動により

豊かな生活環境の創出

地産地消社会の実現





市民や社会に支持されない事業活動は出来ない

社会課題にこそビジネスチャンスがある

従順な社員ではなくイノベティブな社員を育成

SDGsを重要な羅針盤に企業は自社を  
見直し2030年に向け戦略を立て  
社内外にコミットすべき

世界の未来指標のSDGs

Society5.0(超スマート社会)の到来

今、私たちは変わるとき



**住友理工**